

平成29年度 大同大学卒業研究

愛知ブランド企業（株式会社瀧川オブラート）広報PR動画

～瀧川オブラート学園物語～

大同大学 上岡研究室 A班

夏目幸希 西山直弥

研究企業 株式会社瀧川オブラート

明治44年に創業し、愛知県新城市に会社を構え伝統を受け継ぎ新たな事に挑戦し続けている、オブラートメーカーです。

企業課題として、若い世代におけるオブラートの認知率の低さや、代替商品の台頭などがあるとの事で、株式会社瀧川オブラート様は『薬を包む』というオブラートの既成概念を破り、今までのオブラートにはなかった『楽しむオブラート』という『オブラート&フードペン』という新商品を開発することで若い世代への取り組みも行っています。



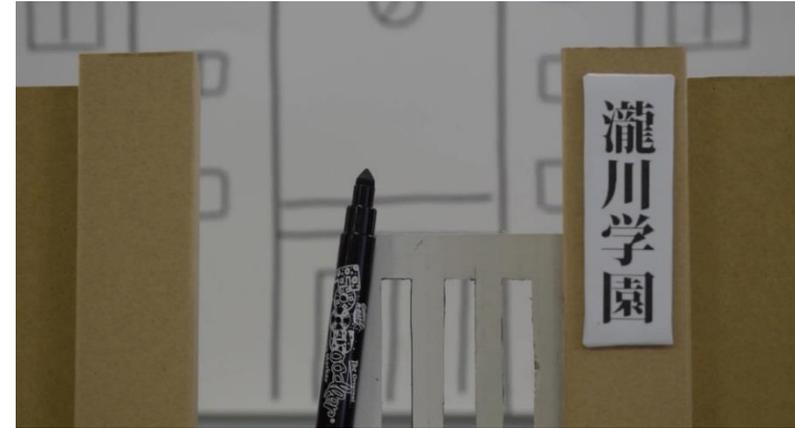
デコレーションに使える
オブラート&フードペン

動画コンセプト

前提

この動画はオブラートの新たな可能性を求め、株式会社瀧川オブラート様が常に挑戦し続けている事を伝える動画です。実際に『薬を包む』から『デコレーションする』という用途が変わったオブラートとデコレーションペンを用いて映像化しました。株式会社瀧川オブラート様のHPやYouTube、Twitterなどに配信し、若い世代に興味を持ってもらうことが目的です。

タイトル/テーマ 瀧川オブラート学園物語
オブラートとペンを擬人化し5編と6種のキャラクターによるストーリーを用意し人形劇で表現しました。



イメージターゲット

アニメ喫茶では、オブラートにキャラクターを印刷したものが人気。
アニメやキャラクターが好きな人には受けが良いと考えた。

- 若い世代（18～24才、男女）
- 特にサブカルチャーに対し好意的である人



5色と1枚のキャラクター達による5つの物語

第一話 黒ペン編 『FoodDocoSticker』の紹介

第二話 赤ペン編 『EdibleFilm & Pen』の紹介
※デコペン…食べ物をデコレーションすることのできるペンの総称

第三話 桃ペン編 オブラート本来の使用方法

第四話 緑ペン編 製品の紹介

第五話 茶ペン編 デコペンを使ったデコレーション



キャラクター紹介

5色と1枚のキャラクター達の設定

おぶら あと
織布良 安人

参考イメージキャラ
緋弾のアリア 遠山金次



- ・オブラート君
- ・高等部2年10組 3番
- ・今回語られるポジション
- ・とにかく語られる
- ・いざってときのヒーロー
- ・陸上部と園芸部に所属

ひすい わかな
翡翠 若菜

参考イメージキャラ
ToLOVEる 古手川唯



- ・高等部2年10組 29番
- ・オブラートくんのクラス委員長
- ・よく言えば生真面目、悪く言えば御堅く融通がきかない
- ・オブラートくんをよく注意しているが決して悪く思っている訳では無い

くりかね すずめ
栗金 雀

参考イメージキャラ
艦隊これくしょん 占守



- ・高等部1年6組 26番
- ・オブラートくんの後輩
- ・活発で明るい
- ・頭があまりよろしくないがそこがチャームポイント

あかね れいか
紅音 麗華

参考イメージキャラ
新世紀エヴァンゲリオン
惣流アスカラングレー



- ・高等部2年10組 1番
- ・オブラートくんのクラスメイトにして幼馴染
- ・王道ツンデレ
- ・直情的でありながら思慮深い一面もある

つつじ ももか
躑躅 桃香

参考イメージキャラ
天色 *アイルノーツ 白鹿愛莉



- ・中等部3年8組 32番
- ・オブラートくんの従姉妹
- ・お兄ちゃんっ子
- ・小動物のように守ってあげたくなるような感じの子

ぬれは さおり
濡羽 沙織

参考イメージキャラ
この素晴らしい世界に祝福を!
ウイズ



- ・高等部2年10組担任
- ・オブラートくんのクラス担任兼陸上部顧問
- ・お淑やかで優しい
- ・オブラートくんを含めみんなを暖かく見守っている



**Aichi
Quality**

食料品製造業

瀧川オブラート株式会社

認定番号 033

動画内容

デコペン登場

1 黒ペン編



(掴み) オブラート



(機能訴求) オブラート



(オチ) デコペンとオブラートの関係



2 赤ペン編



3 桃ペン編



4 緑ペン編



5 桃ペン編



及び協力してくれた方々

原作・脚本・絵コンテ・企画・プロデュース・黒子役： 夏目 幸希

編集・撮影・演出・脚本協力： 西山 直弥

黒ペン・茶ペン： Hiroa

桃ペン・赤ペン： ゆっきー

緑ペン : Yaito

効果音 : Music is VFR<http://musicisvfr.com/>

取材協力： 瀧川オブラート株式会社

瀧川オブラート株式会社オブラーマン

愛知県産業労働部産振興課

撮影協力： 瀧川学園(段ボール)

総監督 : 上岡 和弘

企画制作： 2017「瀧川学園物語」製作委員会（大同大学上岡研究室 A班夏目 幸希 西山 直弥）

終わりに

夏目

今回のチーム研究を通して、複数人で制作意図を理解し協力し作成する大変さと自身のコミュニケーション能力の低さを身に染みて理解しました。当面の個人の課題としてコミュニケーション能力の向上と語彙力の向上を胸に刻みました。しかし完成した達成感は大変心地よく、まさに勝利の美酒と言っても過言ではない！そのように感じました。

西山

今回のPR動画制作にあたり自分は動画編集を担当しました。慣れない撮影や編集に苦労しましたが、苦労の末企画の形にすることができました。ゼミ内でも今までにないタイプの動画だったので二人で相談しながら意図するものに少しでも近づけられたのではないかと思います。